

# 覽古考新

準備室だより『覽古考新』No. 12

岡谷市教育委員会生涯学習課

岡谷市史編さん準備室 編集・発行

2024(令和6)年 3月一①

覽古考新：古い事柄を顧みて、新しい問題を考察すること  
～岡谷の歴史を深く思い、岡谷の今を重ね、岡谷の未来が拓けるような新しい市史をめざして～

前回の準備室だより「学校関係～後編～」の中で、「岡谷おどり」を取り上げました。今回は「岡谷おどり」制作の経緯を調べましたので報告します。

## 調査レポート 『岡谷おどり』

岡谷市民に踊りつがれてきたこの曲と振り付けはどのような経緯で制作されたのでしょうか。市史編さん準備室で調査しました。

歌手は三波春夫だということはわかっていたので、「三波春夫オフィシャルサイト歌のあゆみ」で検索すると、昭和40年5月に収録、「岡谷おどり(依頼盤)」とありました。だれが？依頼したのでしょうか。

三波春夫は、1923(大正12)年7月19日生まれで、2001(平成13)年4月14日に亡くなっています。ということは、

**2023(令和5)年は、三波春夫生誕100年**にあたり、岡谷おどりは、ご本人が42歳のときの収録で、**2025(令和7)年は「岡谷おどり制作60周年」**ということになります。**還暦です。**

当時のことを知るために岡谷市民新聞社を訪ね、昭和40年の新聞(紙ベース)を閲覧させていただきました。結果、岡谷商工会議所が企画し、市を挙げて「岡谷おどり」を制作し、市民への浸透を図り、定着させていった経緯が読み取れました。おもだった記事を拾ってみましょう。

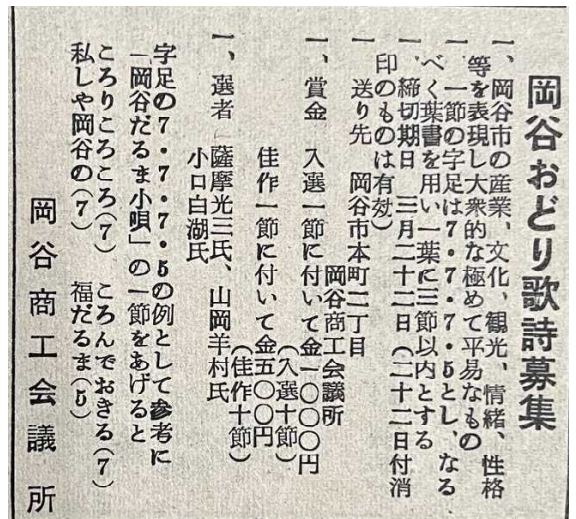
### 1965(昭和40)年 3月

- ・岡谷商工会議所が岡谷に相応しい(岡谷おどり)の制作を企画
- ・歌詞は一般からの公募によることにした(右募集要項) →
- ・3/22締め切りまでの応募ハガキは216通、歌詞は625節
- ・入選一節につき賞金1000円(入選10節)
- ・歌詞の選者は薩摩光三氏、山岡羊村氏、小口白湖氏の3名

#### 昭和40年の岡谷市の主なできごと(岡谷市史下巻年表より)

- ・3/11 統合「神明小」建設に伴い中央・今井小廃止を議決
- 3月 国鉄諏塩短絡線問題起きる
- ・5/27 働く婦人の家完成 8/5開館式
- 5月 樋沢開拓地に水道入る
- ・6/23 ゴミ焼却場建設地 間下ヨキトギ沢地籍と決定
- ・7/1 中央東線全面電化完成 松本・上諏訪間祝賀列車走る
- ・7/24 竜上高校体育館と図書館完成祝賀式
- ・8/30 市消防署・議事堂併設庁舎完成
- ・10/3 東部中学校、新築完成祝賀式

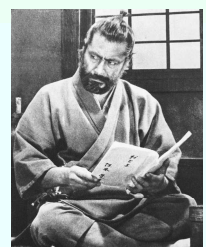
岡谷市史下巻：1982(昭和57)年 岡谷市刊 巻末年表



出典:「岡谷市民新聞」(昭和40年3月14日発行 第1面)  
株式会社岡谷市民新聞社 提供

### ちなみに、昭和40年(東京オリンピックの翌年)の世の中は・・・

- プロ野球第1回ドラフト会議開かれる
- 日本レコード大賞「柔」(美空ひばり)
- アニメ放送開始「オバケのQ太郎」(東京ムービー、スタジオ・ゼロ)
- 「ジャングル大帝」(虫プロダクション)
- (日本最初のカラーテレビアニメ)
- 邦画ランキング1位「赤ひげ」監督:黒澤明 出演:三船敏郎、加山雄三ほか
- 朝永振一郎氏、ノーベル物理学賞受賞
- ヒット曲「君といつまでも」(加山雄三)



「赤ひげ」(1965年)三船敏郎  
国際情報社

画像出典:フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』(パブリックドメイン)

## 賞金1,000円を想像してみましょう

- ・当時の千円札の肖像=伊藤博文(裏面:日本銀行)  
(1万円・5千円:聖徳太子 5百円:岩倉具視)
- ・お米 1,125円/10kg (東京の平均小売価格)
- ・コーヒー1杯 71.5円
- ・ガソリン 51円/リットル
- ・大卒の初任給 約2万円



伊藤博文(初代内閣総理大臣)

画像出典:フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』(パブリックドメイン)



「岡谷おどり」音源マスターテープ  
岡谷市立小井川小学校 蔵

2024(令和6)年 市史編さん準備室撮影

## 4月

・4/2付新聞 入選者と入選歌が発表される。作曲は長津義司氏、唄は三波春夫氏と同時発表

## 作曲者 長津義司(ながつよし 1904年-1986年)昭和の作曲家

三波春夫のヒット曲「チャンチキおけさ」(昭和32年8月)[作詞:門井八郎]

「大利根無情」(昭和34年7月)[作詞:猪又良作]などを手がけた

令和元年度の運動会で「岡谷おどり」を踊った小井川小学校から音源をお借りして聞いてみますと、歌詞は7番(節)までであることがわかりました。

◆入選は10節でしたが、実際は7節であり、歌の順番も違っています。その経緯については新聞記事からはわかりませんでした。歌われなかった3つの歌詞(節)は下記のうち②⑤⑦です。

番号	歌詞	地名	表記
①	恋の水門ひらいて閉じて 結ぶ諏訪湖と天竜川	伊那市	○○○○
②	岡谷かたぎはころんでも起きる スキー、スキー福だるま	伊那市	○○○○
③	塩嶺公園小鳥の唄に 明けて見おろす湖と富士	下諏訪	○○○○
④	さくら花岡、鶴峰つつじ もみじ出早雄色の良さ	天竜町	○○○○
⑤	色で見染めて味見て惚れる 香りゆたかな岡谷味噌	川岸	○○○○
⑥	シルク岡谷は日本のスイス カメラ時計にオルゴール	田中町	○○○○
⑦	岡谷名物わかさぎしじみ 忘れられない鯉の味	諏訪市	○○○○
⑧	月も涼しや燈ろう流し 仕掛花火も水鏡	山下町	○○○○
⑨	岡谷よいとこよい娘が嫁に みんな来たがる住みたがる	本町	○○○○
⑩	パツと開いた新産都市の 夢も明るいう大岡谷	塚間町	○○○○

「岡谷市民新聞」昭和40年4月2日発行の岡谷おどり入選歌紹介記事を元に市史編さん準備室作成

・入選者氏名は削除し○○表記 ・歌詞中の「、」、漢字、送り仮名は記事記載のまま掲載 ・○数字は新聞記事紹介順 ・( )数字は音源歌詞の順  
出典:「岡谷市民新聞」(昭和40年4月2日発行 第1面) 株式会社岡谷市民新聞社 提供

- ・おどりの振り付けは藤間流宗家の藤間紫氏、歌の合いの手はテイチク合唱団と発表
- ・商工会議所では発表会のための委員会を組織し準備へ。商工会議所正副会頭、商連、市商工課長ら18人で組織
- ・レコード(制作:テイチク株式会社)は1000枚注文 発売は6月初旬と決まる
- ・おどり発表会と指導会を計画
- ・三波春夫と藤間紫の顔あわせは、二人の都合が合わない見通し
- ・中央通り連合商業会が「三波春夫歌謡ショー招待セール」を展開<お買い上げ100円毎に補助券、30枚(3000円)で招待券と引換>

岡谷春祭り協賛招待セール / 三十数曲を詠いまくる 歌謡界の王者 **三波春夫ショー招待セール**

中央通りの全商店が日曜のご愛顧にむけるため花咲く春...特別招待セールを行います。この好期をお見逃しなく、良い品を最下一定と評判の中央通りへお買い上げ下さいませ。きつとご満足して頂けると幸いです

◆お買い上げ100円毎に補助券進呈 30枚で招待券と引換  
◆売出し期間...4月24日より~5月10日まで ◆招待日...5月13日昼夜3回 於岡谷市民会館

中央通り 全商店参加 **中央通り連合商業会**

出典:「岡谷市民新聞」(昭和40年4月24日発行 第1面)株式会社岡谷市民新聞社 提供

三波春夫が吹き込んだテープの試聴会を

松風亭で開く。林浩正市長も参加

合いの手を一部修正し、レコーディングへ回すと決定。「覚えやすく踊りたくなると好評の様子」と伝える。



5月

- ・5/13 三波春夫歌謡ショー 岡谷市民会館で行われる。
- ・5/15付記事 5000人のファン来場 早朝7時から座り込み 昼夜3回のステージ 「チャンキキおけさ」や「東京五輪音頭」などで観衆を喜ばす、と伝える。(岡谷おどりを歌ったかどうかは記載なし)

6月

- ・レコード売れ行き上々との新聞記事 残り80数枚 1枚500円
- ・7/26に市内踊り社中の代表者(師範級)対象に、藤間勘紫乃師匠を新屋敷公会所に招き、指導者講習会開催の計画(指導料6万円) 翌27日岡谷おどり発表会 藤間流家元などが来岡予定と伝える



藤間 紫 (ふじま むらさき) 1961年 日本舞踊家 女優 (1923年-2009年)  
画像出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』(パブリックドメイン)

**岡谷おどり 八百人の市民が集り 賑やかに発表会**  
ステージに・客席に踊りの輪

公券した歌詩に長津義司氏が作曲、いまをときめく三波春夫がレコードに吹き込み、藤間紫師の振りつけて完成した岡谷おどりの発表会は、二十七日夜、市民会館に約八百名の市民を集めて盛大に行なわれた。林商工会議所会頭のあいさつのあと、藤間紫師ら五名がステージに立つて紹介を受け、市内商店寄贈の花束を受け

るいリズムミカルな歌と踊り、場内は明るく浮き浮きした空気をかもし出し、観衆も手拍子よろしく唄い出した。最後にステージ前の移動イスを除いた広場とステージとで二百名ばかりの人々が約三十分間に返って、岡谷おどりを楽しんだ。

(花束を受ける藤間師ら一行と一般の踊り練習)

7月

- ・7/27 夜 岡谷おどり発表会 市民会館で行われる。
- ・7/29付新聞見だし 「岡谷おどり 八百人の市民が集り 賑やかに発表会」 藤間流からは本家藤間紫、勘紫乃、紫翠、勘太郎の各師ら5名、岡谷合唱団指導者 渡辺功氏による唄の指導、伊藤猛とリズムキングスによる演奏で約30分にわたって会場が踊りの輪になったと伝える。

出典:「岡谷市民新聞」(昭和40年7月29日発行 第1面)株式会社岡谷市民新聞社 提供

- ・7/31 岡谷市婦人連合会約60名が市内各踊り社中の指導を受ける 指導者講習会を開催 習った婦人会員を中心に翌月から各区で練習会に臨む。

8月

- ・2日から12日まで市内各区で練習会を開催 「盆踊りは岡谷おどりで」をねらったもの 例 8/2 岡谷公会所(講師 香明菊社中)
- ・中央通り商業会は10日夜から12日夜まで、町内ごとに岡谷おどりの盆踊り行進を行い、夕涼みがてらの買い物客を楽しませた。

昭和40年7月29日のテレビ・ラジオ番組 岡谷おどりと関係ありませんが、えっ? 千コちゃんが!

8:00	7:30	6:00	5:00	4:00	3:00	2:30	2:00	1:30	1:00	12:00	11:00	10:00	7:00	6:00
ただいま十一人	天気予報	天気予報	天気予報	天気予報	天気予報	天気予報	天気予報	天気予報	天気予報	天気予報	天気予報	天気予報	天気予報	天気予報
千コちゃんど自慢	千コちゃんど自慢	千コちゃんど自慢	千コちゃんど自慢	千コちゃんど自慢	千コちゃんど自慢	千コちゃんど自慢	千コちゃんど自慢	千コちゃんど自慢	千コちゃんど自慢	千コちゃんど自慢	千コちゃんど自慢	千コちゃんど自慢	千コちゃんど自慢	千コちゃんど自慢

出典:「岡谷市民新聞」(昭和40年7月29日発行 第3面)株式会社岡谷市民新聞社 提供

まとめ

七番歌詞 「パッと開いた 新産都市の 夢も明るい 大岡谷」 この歌詞からも 高度経済成長の時代、「夢も明るい大岡谷」と歌った新産業都市岡谷の賑わいと市民の活気が伝わってきます。

\*新産業都市: 新産業都市建設促進法に基づいて「産業の立地条件及び都市施設を整備することにより、その地方の開発発展の中核となるべき」として指定された地域。岡谷市は昭和38年に新産業都市の指定を受けた。(松本・諏訪地区: 内陸県では全国唯一)

もう1回見てみたい! 「岡谷おどり」の振付

岡谷市公式チャンネル \*ページを開いたら「岡谷おどり」と検索してください。

番組に挿入されている運動会は令和元年度小井川小学校運動会です。

